【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和5年10月3日(2023.10.3)

【公開番号】特開2023-123424(P2023-123424A)
【公開日】令和5年9月5日(2023.9.5)
【年通号数】公開公報(特許)2023-167
【出願番号】特願2023-85177(P2023-85177)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｈ　1/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｈ　1/00

【手続補正書】
【提出日】令和5年9月22日(2023.9.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
エネルギーシステムであって、
１または複数のエネルギー装置と、
複数のエネルギーリレーコンポーネントであって、各々はそこを通るエネルギーの伝達の局在化を誘発する素子から形成されている結果、横方向における前記エネルギーの伝搬がエネルギー波の干渉により制限され、前記複数のエネルギーリレーコンポーネントの各々はさらに第１のエネルギー表面および第２のエネルギー表面を有する、複数のエネルギーリレーコンポーネントと、を備え、
前記複数のエネルギーリレーコンポーネントの前記第２のエネルギー表面は、単一のシームレスエネルギー表面を形成するように配置され、
前記１または複数のエネルギー装置は少なくとも、前記単一のシームレスエネルギー表面を通してエネルギーを放出するまたは受け取るように動作可能であり、
前記複数のエネルギーリレーコンポーネントの任意の２つの隣接する第２のエネルギー表面の縁部間の間隔が、前記単一のシームレスエネルギー表面から、前記単一のシームレスエネルギー表面の高さ、または前記単一のシームレスエネルギー表面の幅のうちのより小さいほうよりも大きい距離において、人間の眼で識別できない予め定められた距離である、エネルギーシステム。
【請求項２】
前記単一のシームレスエネルギー表面は、仮想的な一表面である、請求項１に記載のエネルギーシステム。
【請求項３】
前記単一のシームレスエネルギー表面は、平面である、請求項１または２に記載のエネルギーシステム。
【請求項４】
前記単一のシームレスエネルギー表面は、切子面である、請求項１または２に記載のエネルギーシステム。
【請求項５】
前記単一のシームレスエネルギー表面は、湾曲している、請求項１または２に記載のエネルギーシステム。

【請求項６】
前記１または複数のエネルギー装置が、
（ａ）集束光を放出する照明源と、
（ｂ）前記エネルギーシステムに統合された音場から没入型音声または体積触覚を提供するように構成された音響放出装置と、
（ｃ）前記エネルギーのスペクトル内のエネルギーを捕捉するためのセンサと、
（ｄ）前記エネルギーシステムに感覚フィードバックを提供するように構成された音響受信装置と、からなる群から選択される素子を有する、請求項１から５のいずれか一項に記載のエネルギーシステム。
【請求項７】
前記１または複数のエネルギー装置によって放出されるまたは受け取られるエネルギーが、波長によって定義される電磁エネルギーであり、前記波長が、
（ａ）可視光と、
（ｂ）紫外線と、
（ｃ）赤外線と、
（ｄ）Ｘ線と、からなる群から選択される、請求項１から６のいずれか一項に記載のエネルギーシステム。
【請求項８】
前記１または複数のエネルギー装置によって放出されるまたは受け取られるエネルギーが、
（ａ）音響音声と、
（ｂ）触覚圧力と、からなる群から選択される機械的エネルギーである、請求項１から６のいずれか一項に記載のエネルギーシステム。
【請求項９】
接合剤、屈曲率整合油、圧力、または重力を使用して前記単一のシームレスエネルギー表面に接続された面板層をさらに備え、
前記面板層が、単一の片のエネルギーリレー材料からなるか、または一緒に結合もしくは融着された２または２より多い片のエネルギーリレー材料からなる、請求項１から８のいずれか一項に記載のエネルギーシステム。
【請求項１０】
前記面板層が、前記単一のシームレスエネルギー表面から出るエネルギー波の放出の角度を増大させるよう動作可能である、請求項９に記載のエネルギーシステム。